

# 定義道を歩こう！

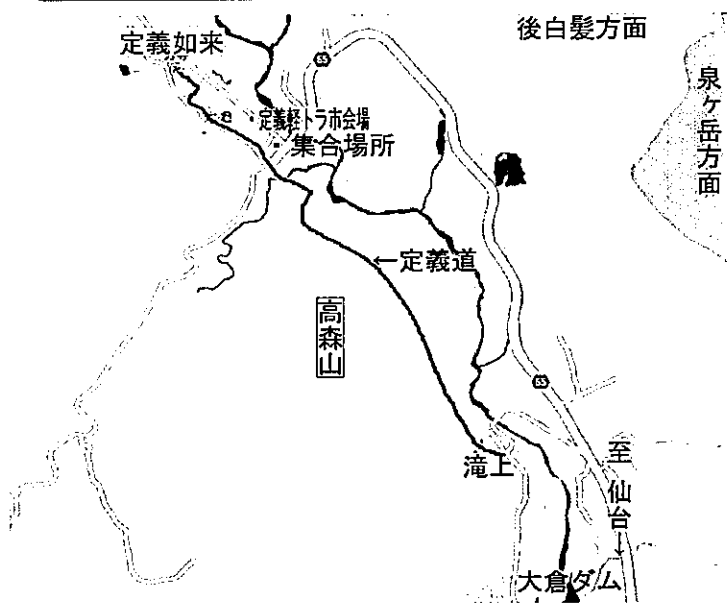
## 定義道中唄

時は旧七月六日のことよ、  
 定義詣りと二人連れ、  
 八幡町を後にして、  
 落合茶屋にて腰をかけ、  
 これ、申しお花ちゃん、  
 これから定義に幾里ある、  
 そこで花ちゃんの申すには、  
 定義様まで五里と半、  
 それでは花ちゃんさようなら、  
 何時もどんどと滝の上  
 はや高森に登りけり、  
 小手をかざして眺むれば、  
 矢籠部落に大原よ、  
 うしろは獅子込おうとどよ  
 地蔵平の賽の河、一の鳥居は高見沢  
 定義の里に着きにけり、  
 五三のキザハシ登りつめ、  
 二人揃うて手を合わせ、  
 これ、申し如来様、  
 この縁結んで賜われど、  
 二度も三度も伏し拝む  
 アリヤランコレハノセ  
 サ、ヤレサンノセイ



昔は、歩いて定義参いをしたものです。紅葉を見ながらふるさとの道をのんびり歩いてみませんか？

今回は、当時を忍びながら、定義道のうち大倉滝上地区から定義如来まで歩きます。



1. 日時 平成25年11月10日(日)  
午前10時00分～(荒天時中止)
2. 集合・解散 定義交流センター
3. 参加費 1,000円(保険、昼食代)当日集金
4. 募集 先着30名(どなたでも)  
10月10日9:30～10月31日まで
5. 申込 広瀬市民センター  
Tel(392)8405 Fax(392)8410
6. 〆切り 10月31日(木)
7. 持ち物 山歩きの服装、飲み物  
軍手、雨具
8. その他 当日、定義交流センター駐車場にて定義軽トラ市(地場産品市)開催しています。  
(開催時間10時から15時まで)



峠から見た定義の里

主催 関山街道フォーラム協議会  
 後援 仙台市

共催 広瀬市民センター・定義観光協会